◆ＰＴＡ総会◆

去る四月三十日（土）、今年度のＰＴＡ総会が本校音楽ホールで開催されました。総会に先立ち、進路講演会がありました。㈱さんぽうの土倉伸次様より、進路で悩む子供との接し方について、貴重なお話をいただきました。

協議は、前年度の事業報告、決算報告ならびに監査報告、今年度の事業計画・予算案・役員改選などについての審議となりました。

総会後は学年ＰＴＡも行われ、今年も会員の皆様のご出席とご協力により無事終了しましたことに、厚く御礼申し上げます。

ＰＴＡ総会

平成二十八年度 ＰＴＡ表彰者

県連表彰

及川卓也（登米支部）

本校表彰

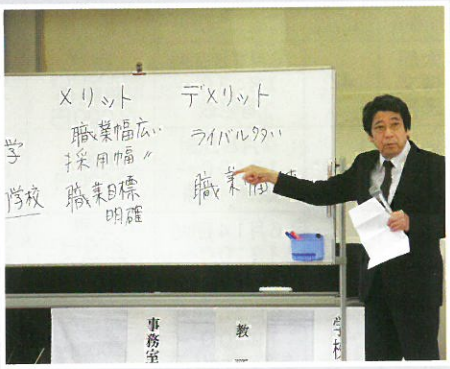
及川卓也（登米支部）
阿部桂一（南方支部）
菅原浩人（津山支部）
首藤儀人（東和支部）
白岩武美（東和支部）
倉田雪絵（豊里支部）
秀　絹子（豊里支部）
※敬称略

ＰＴＡ進路講演会

『聞いておきたい、子供の人生が変わる話』

～保護者のための、本音の進学・就職情話～

講師　株式会社さんぽう 進路アドバイザー　土倉伸次氏



須藤由美子（登米支部）

将来自分が何をしたいのか、どんな職種に就きたいのか、目標が明確であれば良いのですがまだ良く分からない、何となくという生徒も少なくないのではないかと思います。今の高校生が誕生した十数年前には既にＩＴ社会となっており、様々な情報が溢れる程ある中、子供達を親も子も納得する将来の道へ導く為にはどうすれば良いのかを講師の先生に講演していただきました。これから先子供達は日々大きく変化する社会を生きていかなければなりません。保護者は子供の設定した目標を理解し、収集した情報を共有し、実行するのを支援する。進路の選択は迷い悩んで当然です。社会人と学生の大きな違いは準備にかける時間です。この時間と情報を上手に使って、将来に向け、有意義な高校生活を送ってほしいと思います。

真田真紀子（登米支部）

講演会に参加して感じた事は目標はあるけれど、その目標に向うには何をしたらいいのか、進学するのであれば大学に行くのか専門学校に行くのかでも学費の額が変わってくる事。

今は奨学金制度というありがたい制度があるので利用する手段もあるのだと言う事。

親も子供と一緒に情報収集や実際にオープンキャンパスなどに参加して、見学したり先輩の話などを聞いたりすると想像と違っていたり、親と子供の視点も違うので出来るだけ良い状態で行ける様に協力したいと思いました。

芳賀　幸子（登米支部）

先日は保護者のための進路講演会に参加させて頂き、アドバイザーの土倉氏の講話を聞く事ができました。講話を聞く前の私は息子に『自分が進みたい道を自分なりに選びなさい…』そう話していました。私自身も、そのようにしましたし、それが一番良いと考えていました。講話では、親も進路について多くの情報・知識を持ち、子供達と共有する事、親に多くの知識があれば将来への選択肢を広げるアドバイスもできる事…等を教えて頂き、これからは息子に任せきりにするのではなく関わりを多く持ち、進むと決めた道を応援していきたいと思います。

講演ありがとうございました。

佐藤　和子（登米支部）

「聞いておきたい、子供の人生が変わる話」を聞いて、自分自身とても考えさせられる内容で、為になるお話でした。

目標に向かっている人は実現方法を知っていて行動している人もいると思いますが、進路選択はそう簡単に決められる物ではないと思います。大学、短大、専門学校等に進む人、就職する人も、どちらにもいえる事は、まず将来目標の設定ができないと方向を間違えたり、遠回りする事も、保護者としては、早く進路を決めてもらいたい気持ちもあり時には考えをおしつけてしまうかも知れないと思い反省するばかりです。子供の話を聞き情報共有をしっかりして支援してあげたいと思いました。